



公益財団法人大阪YWCA

2024年度（令和6年度）

（2024年4月1日～2025年3月31日）

事業報告

はじめに

大阪YWCAの事業・活動にご参加いただいた皆様、さまざまなご支援、ご協力、ご寄付を寄せて下さった皆様、講師、ボランティア、会員、お心を寄せていただいたすべての皆様への深い感謝と共に 2024 年度の活動をご報告いたします。

2024 年 4 月、日本語教育機関認定法が施行されました。日本語教育機関が留学生を受け入れるためには、5 年間の移行期間内に文部科学省の認定を受け、さらにそこで教える日本語教師は国家資格をもった登録日本語教員でなければならないという制度となったのです。そのため日本語学科では、今後も多くの留学生を受け入れ、大阪YWCAらしい質の高い日本語教育と、温かみのある学校運営を続けていくことを目指して、カリキュラムの改編や認定に向けた準備作業がはじまりました。大きな過渡期にある日本語学科ですが、幸い本科、別科とも多くの学生に恵まれ、大いににぎわいました。日本語教師会もプライベートレッスンや企業、大学、行政等からの講師依頼などが増加。存在感を増した 1 年となりました。今後も日本語を学びたいと思う方々の様々なニーズに応えていければと願っています。

近畿中国帰国者支援・交流センターで 7 月に実施したシンポジウム「中国残留婦人『三世・四世』という経験～在日コリアン、在日華僑との比較から～」では、帰国者 3 世、4 世代からの声を聴くことで、歴史の継承という課題についての私たち一人ひとりの責任をあらためて深く考えさせられる機会となりました。

ボランティア・社会貢献活動では、他市YWCAとの協働から様々な実りを得た 1 年でした。4 月の世界YWCA日集会は、京都YWCA、神戸YWCAと合同で行い、盛りだくさんな内容の楽しいプログラムとなりました。距離の近い関西 3 市Yならではの良さを活かし、今後も様々な連携が期待できそうです。また、2023 年度より沖縄YWCAと協働で進めてきた「沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える」（日本YWCA 地域Yを主体としたプログラム助成プログラム）は、いよいよ 2 年目となり、沖縄、大阪双方の地でフィールドトリップを実施。それぞれのYがもつネットワークを駆使し、思いのつまった中身の濃い旅が展開されました。協働した沖縄YWCAメンバーの真摯な姿勢に学ばされ、2 年にわたって関わってくれたユースメンバーの成長に胸を熱くする場面も多有りました。また、日本YWCAからの助成と、コロナ禍の置き土産でもある ZOOM 等を活用したオンライン会議の定着なしには、実現できなかった企画となりました。双方の地域で顕在化している人権・ジェンダーの課題は様々であっても、その根っこはつながっているのだと気づかされました。全国の仲間と共に、課題の解決に向けての動きを作りだしていければと思います。

最後になりましたが、今後の歩みを強めていくためにも、皆さまの更なるご支援、ご指導のほどを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人大阪YWCA
総幹事・常務理事 中山 羊奈

目 的

キリスト教の基盤にたち、女性と青少年の力を集め、リーダーシップを養成し、すべての人にとっての正義・平和・健康・尊厳・自由・持続可能な環境を実現することを目的とする。

基 本 方 針

1. 非核・非暴力による平和の実現のために積極的に行動する
2. 多様性を認め合い、出会いの中で育ち合い、変革を担う人材を育成する

<日本YWCA第34総会期>

ビジョン 女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

ミッション 若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

バリュー

1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣(なら)って行動します。

2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくります。

4. セーフスペース

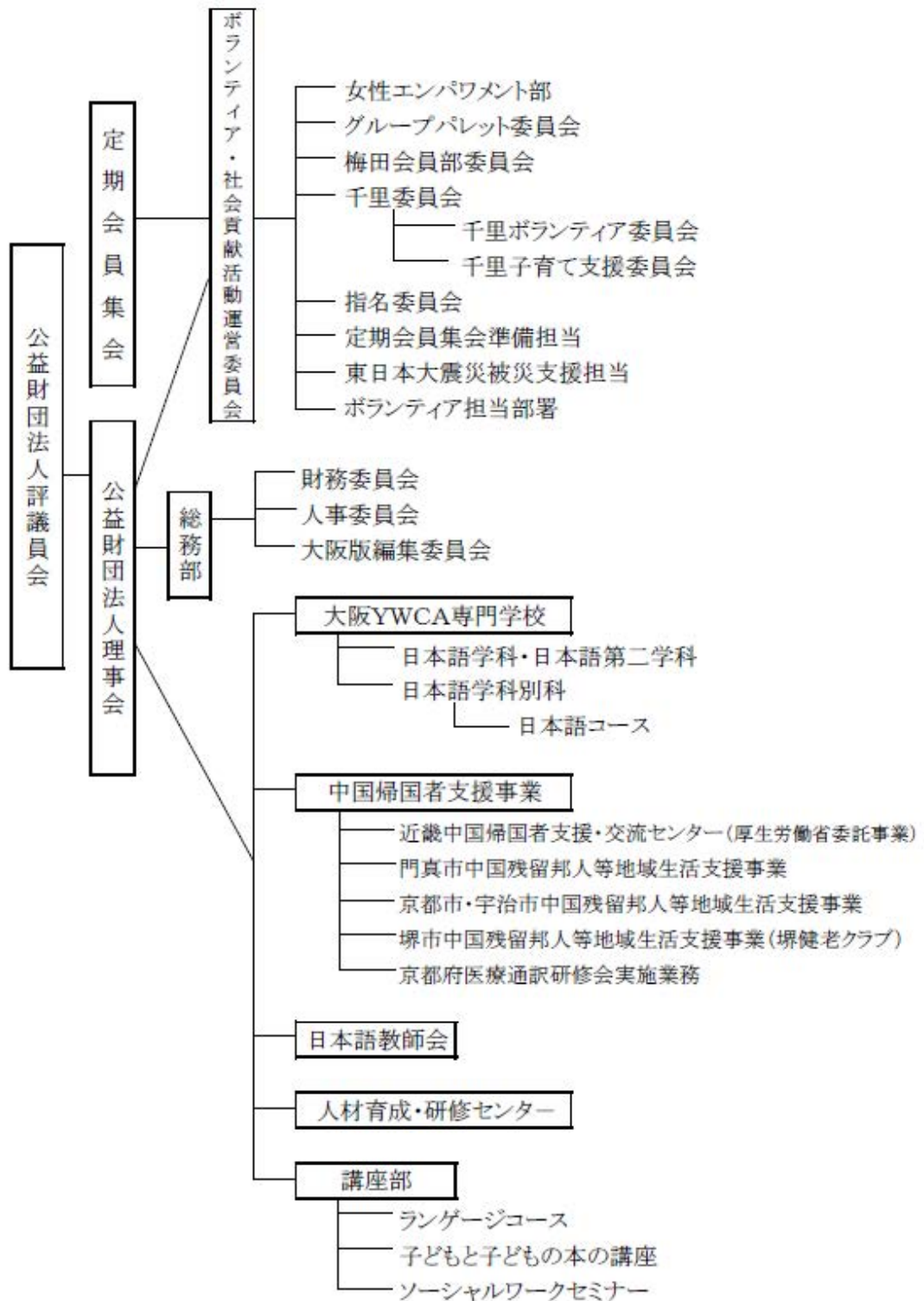
会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

2024 年度標語

自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい

マタイによる福音書 22 章 39 節

2024年度 大阪YWCA委員会等組織



I. 教育事業

1. 専門学校事業

(1) 日本語学科／本科・日本語第二学科

日本語学校の教育内容や施設を文部科学省が審査して認定する新制度を定めた「日本語教育機関認定法」が施行された。従来の文法積み上げ形式から、「運用できる日本語の習得」が求められるため、専任講師を中心にカリキュラム見直し作業に取り組んでいる。日本語教師は、国家資格「登録日本語教員」取得のため、試験や講習を受け、順次登録を行っている。

全日制総合日本語コース（本科）は、午前中のみの聴講生も含め、春期5クラス71名、秋期6クラス87名、モーニング会話クラスは、春期3クラス19名、秋期4クラス31名であった。

進路面では、早い段階から就職相談や進学相談、出願手続きのサポートなど、きめ細かな指導を行った。学校行事としては、日帰り旅行で淡路島方面へ出かけ、バーベキューを楽しんだ。校外学習では、春に天王寺動物園とてんしば、秋には箕面の大滝へ出かけた。他にも校内スピーチコンテストやクリスマス会&クリスマスパーティーも行った。

留学生基礎力講座では、「自転車のルール」について学ぶ機会を作った。日本語教師向け研修では、昨年度に引き続き「青少年期のメンタルヘルス研修 その2」を実施し、学びを深めた。

(2) 日本語学科／別科

イブニングコースは春期・秋期とも4クラスを開講した。日本の企業で働いている外国人がほとんどだが、日本人の配偶者や永住者などが受講した。国籍は中国、台湾、香港、韓国、ネパール、フィリピン、インド、タイ、モンゴル、コロンビア、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、スイス、トルコと多彩で、年齢も10代から60代まで幅広い層が在籍した。日本語能力試験準備コースは、春期N1のみ、秋期N2のみを開講した。中国、ベトナム、ネパール、オーストラリア、日本の学生が7月、12月の試験に向けて意欲を持って受講した。夏期集中コースは、3クラスを開講した。中国、台湾、香港、マカオ、ベトナム、アメリカ、カナダ、フランスの10代から60代の学生が参加した。オプションプログラムは書道体験、お好み焼きパーティー、かるた大会、ちぎり絵のウチワを作り、校外へ出て天神橋筋商店街の散策や、大阪天満宮、上方浮世絵館、造幣局の見学にも出かけた。修了式&パーティーは、子どものための日本語夏期集中コースと合同で行った。

(3) 学校広報

学校のホームページを刷新した。これまで英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）版のページを掲載していたが、翻訳ソフトを設定し、自動翻訳で閲覧できるようにした。

(4) 奨学金

今年度は鈴木保奨学金、仙台宮城野奨学金、そして文部科学省外国人留学生学習奨励費も加わり、それぞれの選考及び支給を行った。春／秋学期ともに大変多くの申請があったが、春学期は5名、秋学期は7名が選ばれた。物価高騰のため経済困窮が目立った秋学期は申請者26名を二日間にわたって選考した。授与式には、会長、校長をはじめ、専任講師、非常勤講師、学校職員に加え、いつも留学生においしいスープを提供してくださる梅田会員部委員会のベジスープの会の方々にもご出席いただいた。

これからも、志高い勤勉な留学生を一人でも多く経済的に支援していけるよう専門学校全体で支えていく。

2. 日本語教師を養成する事業

(1) 日本語教師会事業

日本語教育機関認定法が施行され登録日本語教員制度が始まり、今後の日本語教師採用方法等について検討を継続。会員向けに登録のための在職証明書の発行や随時「登録日本語教員」についての情報提供も行っている。日本語学習希望者の急増により、日本語講師の確保が課題となっている。

在住外国人の増加に伴い、自治体・国際交流団体等での日本語ボランティア向け講習会や日本語教室への講師派遣は好調で（15件）、講座・教室への申込者数も増加している。中でも、大阪市立総合生涯学習センター主催「にほんごこんにちは（基礎レベルの日本語教室）」は、これまでの3期6クラスから今年度は4期9クラスへ大幅増、また新たに大阪市教育委員会主催「はじめましてにほんご（短期集中型基礎レベルの日本語教室）」（7～8月）へも講師を派遣、引き続き「文部科学省日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」メンバー、大阪市教育委員会「大阪市における地域識字・日本語教育体制整備事業」総合調整会議委員に講師を派遣した。

大学等では、引き続き立命館大学日本語プログラムやホスピタリティ学園（旧トラベルジャーナル学園）の日

本語授業にも講師を派遣した。

日本語のクラスでは、「子どものための日本語夏期集中コース」、「ビジネス日本語上級クラス」（春期・秋期）、「同 特別クラス」を実施した。日本語プライベートレッスンについては、グループレッスンには参加できない学生がそれぞれのスケジュールに合わせてレッスンを受けている。就学前の受講生など、多様なニーズに対応している。

教材開発では、『くらべてわかる てにをは日本語助詞ドリル 入門・初級コース』がJリサーチ出版から7月に出版、即増刷、昨年度出版された『くらべてわかる てにをは日本語助詞辞典』や『日本語能力試験N2読解必修パターン』『同N1読解必修パターン』『新訂版 聞いておぼえる関西（大阪）弁入門』（ひつじ書房）も増刷された。

講座・セミナーでは、11月に初めて実施された国家資格試験に対応した「日本語教員試験対策講座」（ハイブリッド・オンデマンド）、「ビジネス日本語クラス」担当講師を育成する「YWCAビジネス日本語の教え方講座」を実施。「日本語初級／中級文型の教え方講座」（オンライン併用）は申込者が少なく開講しなかった。また3月に「春の日本語教育セミナー」を2回（内1回はハイブリッド）行った。

研修会・研究会関係では、「文法・構文研究会」、大阪YWCAで初めて教える会員を対象にした「新人研修プログラム」を実施した。

3. 生涯学習の各種クラス・講座

「子どもと子どもの本の講座」は、「はじめてのことば」「子どもとわらべ唄」「子どもに絵本を」「ストーリーテリングをたのしむ」「子どもに本を手渡すために」「児童文学をたのしむ特別講座」に分けて実施した。講師の都合により延期や中止となった講座もあったが「児童文学をたのしむ特別講座」は4回開催した。年度初めには講座イベントとして大人のための春のおはなし会「ミリー・モリー・マンデーを語る」を行った。翻訳者の上田由美子講師も交えていろいろな作品のおはなしを聞きミリー・モリー・マンデーの世界を楽しんだ。

ランゲージコースの春期は韓国語上級、韓国語初級、ベトナム語の3クラス編成で開講した。秋期は韓国語初級がプライベートレッスンに変更になったため、クラスとしては韓国語上級とベトナム語のみとなった。受講者の減少によりランゲージコースは2024年度をもって講座としての事業は終了とし、受講生は各々グループを作り、梅田会員部委員会のグループ活動として存続することになった。

俳句講座は高浜虚子の孫、松田美子講師の指導のもと、毎月紙上の句会を行っている。コロナ禍以降も集まらない状況が続いているが、外に出なくても参加できることの良さもあり、月一回の句会を楽しみにしている。また11月には有志で集まり京都へ吟行した。鎌倉から松田講師にもおいでいただき久しぶりの対面となった。

Ⅱ. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

対人援助者が現場で支援する上で必要となる知識やエンパワーの姿勢を学ぶソーシャルワークセミナーは「多様な地域社会を支えていくための傾聴力養成講座」と題して連続6回で開講した。傾聴に興味があって参加された方や既にボランティア組織に所属して活動されている方などさまざまな背景をもつ参加者に恵まれた。ここで得られた経験と学びがそれぞれの地域へと還元されていくことはYWCAの理念にもつながると考えている。この講座は大阪市ボランティア活動振興基金助成で実施された。

企業からの依頼を受け、コーチング等をテーマとした研修の提供も行った。

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

（1）ピースフェスティバル

ピースフェスティバルは、「語り継ぐ ～平和を紡ぐストーリー～」と題して実施した。メイン企画の講演会「心の中に平和を」では、大阪YWCAともかかわりの深い近藤紘子講師が、ヒロシマでの被爆からご自身が体験されたことを縦軸に、関り合いのあった方々とのエピソードを横軸に、平和へのメッセージを熱く語ってくださった。また、語り継ぐというテーマに沿って、沖縄戦を題材にした紙芝居「まさきちといくさゆ（戦世）」の上演や、イスラエルによる空爆でなくなったパレスチナ人の詩人リファト・アライールさんの詩“IF I MUST DIE”（もし私が死ななければならぬなら）の朗読も行われた。会場では、ウクライナの子も達が描いた絵画の展示も併せて行った。講演会終了後は、会員手作りのカップケーキと紅茶を楽しみながら、絵をみたり、感想を語り合うなど、和やかなひと時をもった。

(2) 沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える

(日本YWCA地域YWCAを主体とした活動助成事業)

日本YWCAの地域YWCAを主体とした活動助成(LA:Local Action)第3期の2年目となる今年は、昨年度の学びを元に、「沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える」フィールドトリップを大阪、沖縄それぞれで実施した。当初は大阪ツアーが8月、沖縄ツアーが2月の予定であったが、台風の影響で8月のツアーが3月に延期となった。ツアー実施前には、それぞれ事前学習会も行い、コースや講師の選定などにも工夫を凝らした内容となった。沖縄ツアーでは、辺野古の海上阻止行動や、南部戦跡巡り、コザの街散策などを通して、「女性と戦争」のテーマを掘り下げ、元日本軍「慰安婦」問題、ひめゆり学徒隊の戦争体験、そして、現在も続く米軍の女性に対する暴力などについて、共に考える場をもった。南部戦跡巡りでは、3名の大学生が2023年度から準備と練習を重ね、堂々たるガイドぶりを見せた。大阪ツアーでは、釜ヶ崎、鶴橋コリアタウンを巡り、それぞれの地で活動する女性たちからお話を伺った。また2日目の夜は、スリランカカレーとコリアンフードに舌鼓をうちつつ2023年度の公開講座の講師でもある新井深絵によるゴスペルミニライブで大いに盛り上がった。3日目には困難を抱える女性たちに寄り添い、支える2つの団体の実践を聴き、3日間の気づきや今後に向けての思いを共有してツアーを締めくくった。今回、講師やツアーガイドなどとして大阪で活動する団体や個人の皆さんに多大なるご協力をいただいた。この人財とネットワークなしには、ツアーを実現させることができなかったと考え、深く感謝したい。

3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

イスラエルによるガザ地区への大規模な軍事侵攻から1年が経過した10月、未だ停戦の兆しは見えてこない中で、ガザの人たちが東日本大震災の被災地を思っ て 風をあげてくれたことに倣って、北海道パレスチナ医療奉仕団が呼びかけた**全国一斉風揚げアクション**に賛同。ガザの人々への連帯、即時停戦、日本政府へのパレスチナの国家承認と平和的解決への尽力を求め、会館近くの野崎公園で、手作りの風を揚げた。SNSでの広報のみであったが、風を持参して駆けつけてくれる方もおり、17名が参加した。1月には、2023年7月からガザに派遣され、10月7日の武力衝突発生後に帰国された大阪赤十字病院看護部の川瀬佐知子看護師をお迎えして講演会を行った(詳細はV ボランティア養成の梅田会員部委員会の項を参照)。3月の定期会員集会後のプログラムとして、講演会「刺繍とデザインーガザ再起への希望を!」を実施。講師は、パレスチナの伝統工芸品の輸入販売を行うパレスチナ・アマル代表の北村記世実。一人ひとりのアイデアと小さな一歩がパレスチナを支援することにつながる事が感じられる、まさに参加者の心に希望を灯すようなひと時となった。昨年のクリスマスから行っていたパレスチナグループによる**サイレントアピール**は、ちょうど1年の節目となる12月のスタンディングで、一旦終了することとなった。新たな活動を模索していくこととなる。

4. 東日本大震災被災者支援

大学、専門学校等へ進学する被災地出身者への奨学金「**大阪YWCA3.11 わいわいサポート**」の募集を春期と秋期の2回にわたって行った。今年度は対象を関西圏以外にも広げたが、応募者を得ることができなかった。チャリティライブ「stand by you」は、出演者と会場である雲州堂のスケジュールが合わず、2024年度は実施しないことを決定。12月には活動の広報とファンレイジングのためクリスマスバザーに出展した。

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット(知的障がいをもつ女性たちのグループ活動)

グループパレットは、知的ハンディキャップのあるメンバーが委員会に参加し、企画にも積極的に関わっている。ボランティアと協働して誰もが自分らしくいられる場づくりを目指し、月1回の例会では、毎回メンバーとボランティアが担当をとって様々なプログラムを主体的に実施している。

コロナ禍で中止していた一泊旅行だが、安全にプログラムを執り行うためのマンパワーが不足しているので、再開できていない。その代わりに、少し遠出するプログラムを増やし、見聞を広げた。8月に実施していた家族の集いもメンバー以外の参加者がいなくなったため止めてしまったが、通常の例会に参加して下さるご家族もいらっしゃるなどして旧交を温める場面もあった。今後もパレット通信を送る際、ご家族のご参加も呼びかけたい。クリスマスバザーでは女性エンパワメント部と協力して10円均一を担当し、メンバーとボランティアが売り子を務めたりした。これからもボランティアと協力しながら、新しいことに挑戦していきたい。

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

(1) むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花の会とガイドヘルプ）

むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花講座）は、20代から80代までの幅広い年代の受講生9名とボランティア7名が活動している。活発な受講生が多く、毎月お花を生けるのを楽しみしてくれていてボランティアも良い刺激を受けている。

(2) リーディンググループ

リーディンググループエコーは、定期的に集まり朗読の勉強会を行っている。

(3) 点字子ども図書室

コロナ禍以降ボランティアの人数が減少したにもかかわらず、24年度から学校、個人からの点訳依頼が急が増えて全体の仕事量が多くなってきた。そのため今年度後半は、貸出だけを行っていた木曜日の活動を取りやめた。11月には点字子ども図書室の長年の活動が認められ厚生労働大臣賞を受賞、澤田代表が東京での授与式に出席。2月には吹田市長を表敬訪問した。

今年度の新規児童書の点訳数は、コロナ禍前の3分の2まで回復した。2024年度末までの蔵書数は4,053タイトル、8,312冊を数える。統合教育を行う小中学校の算数・数学に加え、今年度からは高校の数学教科書の点訳も行っている。金蘭千里中高のボランティア部での点訳講習は10年目である。蔵書の保管場所の確保が引き続き懸案事項となっている。

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

千里ボランティア委員会では、今年も高齢者のための配食サービスを毎週木曜日におこなった。地域の方々からのニーズは高く新規の申込みは随時きているが、配達ルート上でないといけないことが難しい。作り手の高齢化は毎年の課題であり、材料費の高騰と悪戦苦闘しつつもメンバー同士の強いチームワークで何とか乗り越えている。使用済み切手整理は、月1回のペースで順調に活動をおこなっている。すでに切手の流通は年々減少傾向にあったが、今年は郵便料金の値上げもありますます減っていくのが悩ましい課題である。

1月には米虫圭子さんを迎え講演会「大切な方を喪ったグリーフとそのケア」を実施した。10年以上前にお話していただいた米虫圭子さんを久々に迎え、会員にとって身近なテーマであるグリーフケアについて改めて考える機会となった。

4. 女性のエンパワメント推進事業

(1) 女性のこころの健康サポート

主催講座「女性のこころの発達を考える連続講座 第9章」（旧くれよん月例会）は、計10回実施。講師：井ノ崎敦子公認心理師。年間テーマを「夫や恋人との関係を考えるーコントロール関係への対応と予防ー」とし、前期・後期各5回ずつで開講した。各期第1回は、オンラインと対面のハイブリッド開催の公開講座とし、それぞれ「コントロール関係について学ぶ 女性支援新法施行」、「女性のひきこもりについて考える」のテーマで、理解を深めた。各期公開講座以外の4回は対面のピアサポートの会とし、講師によるミニ講義と当事者同士の話し合いの会とした。数年ぶりに対話の時間をより重視する構成とした。

女性のこころの健康をサポートする事業としてのカウンセリングは、2021年度より対面とオンラインの両方に対応しているが、今年度は利用が無かった。

(2) インターンシッププログラム

2021年度から始まった若い女性のリーダーシップ養成のためのインターンシッププログラムは、今年度ユース3名・ミドル2名の計5名でスタートした。「ジェンダーを自分ごとに〜モヤモヤ社会への行動を起こすための第一歩〜」をテーマに、6月から12月まで月1回、対面とオンラインのハイブリッドで実施した。初回の6月はジェンダーとセクシュアリティについての学びの導入のために公開講座を開講し、2回目以降の講座では、アンコンシャス・バイアス、女性とメンタルヘルス、職場とジェンダー等多様なテーマで学び、10月の講座では、元オーストラリアYWCA運営委員 Yasmin Poole からオーストラリアの女性が抱える問題について学びを得た。8月・9月の2回は昼食交流を含む1日プログラムとし、包括的性教育のワークショップ体験、ジェンダー映画の鑑賞、ジェンダー問題と国連の取り組みや国際NGOとしてのYWCAについての学びをもった。企画会議の折には、ウォームアップの時間として、国際条約等に触れ、人権に関する知識や思いを深めた。これらを通してジェンダーの学びを深めながら、12月最終回でのワークショップ実施に向けて、企画を進めた。各講義で得た知識を

もと、メンバーが企画会議にてワークショップテーマを検討し、12月に「私の人生、私が選ぶ～アンコンシャス・バイアスからの解放～」というテーマでユースとミドルの協働でワークショップを実施した。当日はフェミニスト作家アルテイシアをゲストコメンテーターに招き、ワークショップについてのコメントと社会に対して行動を起こしていくために大切なことをお話しいただいた。今年度は初めての試みとして、ユースとミドル世代の協働プログラムであったが、世代間での様々な意見交換がお互いの刺激になり、ジェンダーについての学びがより深まったという参加者の振り返りを得た。ユース、ミドル各2名、計4名が修了。

(3) Rise Up! School Visits

中高生のための包括的性教育プログラムを開発・実施する『Rise Up! School Visits』(RUSV) チームは2022年度からの継続メンバー1名と新年度募集により5名の新メンバーが得られたが、1名休会、1名退会により後半は4名となった。今年度はセーフスペースとアサーティブコミュニケーションをメインテーマに、『ありのまま！～私らしく、あなたらしく生きるために～』というワークショップを、月に1～2回のオンラインミーティングを重ねながら作成した。2月18日梅花高等学校、2月28日大阪市立天満中学校にてワークショップ実施し、包括的性教育、特に自分と相手を守り、守られる権利の重要性について発信した。

(4) 関西学院大学YWCA

関西学院大学神戸三田キャンパスの学生を中心に2019年度に発足した関西学院大学YWCAは、今年度新メンバーの加入はなく、三田キャンパス以外を含めメンバー計4名。ジェンダー平等やセクシュアルマイノリティの理解促進、などをめざして活動した。4月は新入生に向けてSNSでの発信、6月はプライド月間に寄せて、SNSで身近なLGBT+の当事者エピソードの投稿をするなど、LGBT+についての理解促進を図った。UNWOMENの提唱する暴力撤廃キャンペーンOrange the Worldに呼応するオレンジザキャンパスを実施し、その一環として12月10日「性暴力について考えよう～性暴力と性的同意」と題し、ゲストスピーカーに松村歌子関西福祉科学大学健康福祉学部教授を招き、講演会を開催した。メンバー全員が4年生であり、この講演会を持って関西学院大学YWCAのグループ活動は終了することとなった。

(5) 外部団体との交流と連携

- ①日本YWCAのコーディネートのもと、Yasmin Poole (元オーストラリアYWCA運営委員) を約1か月インターンとして受入れた。
- ②ステップハウス元入居者支援グループのクリスマス会を12月14日に会員ルームで実施、10名参加した。
- ③香港中文大学から研究協力の依頼を受け、日本在住で主たる生計維持者の女性のアンケートへの協力者確保を請け負った。

上記の活動のうち、ユース育成に関わる部分は、「日本YWCAユースエンパワメントプログラム補助助成金」を得て実現が可能となった。

若い女性のエンパワメントをYWCAの使命とし、工夫を重ねているが、新規参加者の獲得に年々苦慮している。が、少ない中でも、自身が学ぶことで社会を変えられると実感した参加者の存在や、中高YWCA出身ユース会員の活躍などに励まされ、今後に向けて協議を進めていきたい。日本YWCAとの協働についても、いろいろな方策を探っていきたい。

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

厚生労働省委託事業である近畿中国帰国者支援・交流センターでは、2024年度、日本語学習支援として、春夏期、秋冬期ともに10コース17クラスを開講し、約190名が登録、毎月延べ約400名が参加した。中国帰国者I世代を中心に概ね60才以上の高齢者を対象にする「ゆっくり日本語」を2クラス開講し、21名が在籍している。日本語でのコミュニケーション能力習得に重点を置くと同時に、毎回ラジオ体操や脳トレを実施し、頭と身体を動かし引きこもり防止も目的に実施している。II/III世を中心としたクラスでは、初級から上級レベルの日本語コースを開講し、「就職活動」「ビジネス場面」で役立つ日本語が学べるようにした。他にもキャリアアップ支援を目的とした「日本語能力試験」「観光・医療通訳技術」の資格取得対策、パソコンコースも引き続き開講した。日本語能力試験の直前対策として11月に模擬試験を実施し22名が参加した。2月には「作文発表会」を実施した。通学学習課程に参加できない帰国者のためには、遠隔学習課程（通信教育）のスクーリングを実施した。また、交流事業としては、引きこもり防止を目的にI世代対象に「朗朗（ランラン）クラブ」を実施した。延べ約130名の登録があり、脳トレ、介護予防体操、和洋裁、社交ダンス等に毎月延べ約150名が参加している。高

高齢が進むⅠ世を対象とする介護支援事業「語りかけボランティア訪問」は、3名を対象に、神戸市1カ所、宝塚市1カ所にボランティアを派遣している。各自治体に所属する支援・相談員との連携を深めながら、ニーズに対応できるよう努めた。3月には登録ボランティアを対象に研修会「多文化な文化背景を持つ人々への介護」を実施した。地域支援事業は各自治体職員対象の「近畿ブロック担当者連絡会議」を9月に実施し、情報交換の機会を設けた。地域での支援を充実させるため地域生活支援推進事業として、ボランティア団体、自治体等各関係機関、NPOとの連携に努めた。いくつかの自治体より支援者養成研修について相談があり、研修内容、講師案について情報を提供し実施に協力した。また中国帰国者への理解を深めるため、シンポジウム「中国残留婦人『三世・四世』という経験～在日コリアン、在日華僑との比較から～」を7月に実施した。12月には就職援助事業として首都圏センター主催の職業講話「ポケモンGO開発者：野村達雄氏講話」に中上級レベルの学習者約20名がオンラインにて参加した。

（2）門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

門真市中国帰国者支援事業では毎週水曜日、門真朗朗日本語クラブを開講、13名が在籍し、介護予防体操、脳トレ等、引きこもり防止を目的に楽しみながら日本語に触れられるプログラムを実施した。

（3）京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

京都市中国帰国者支援事業では日本語クラスを1クラス開講し5名が在籍。高齢者対象の朗朗日本語クラブは、向島地域と醍醐地域で交互に月1回実施をした。合計約30名の登録があり、健康体操、脳トレ等をしている。参加者の居住地に近い会場のため、積極的に参加する人が多かった。

（4）宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

宇治市中国帰国者支援事業では日本語クラスを1クラス開講し5名が在籍した。今年度より交流活動「朗朗日本語クラブ」は通年をととして京都市が実施することになった。

（5）堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

堺市中国帰国者支援事業である堺健老クラブは、毎週木曜日2クラスを開講、前期16名、後期15名が在籍した。ボランティアとの日本語会話交流を各クラス月1回で実施を再開し、地域での交流を深めた。3月には学習発表会を実施し、各クラス学習の成果を発表した。この発表会には受講生、講師の他にもボランティア、堺市職員の出席があった。

（6）京都府医療通訳研修会実施業務

医療機関、地域包括支援センターの協力の下、2～3月に医療・介護の知識、通訳技術について計10講座を実施、延べ227名の参加があった。

Ⅳ. 青少年育成事業

1. 青少年活動

こども部は、梅田会員部委員会に属するグループとしてリーダー会が中心となって活動した。年間テーマを「多様性を認め、多くの仲間を作る」とし、小学生向けのダイプログラム3回、野外活動に必要なスキルを身につけるリーダートレーニングを1回実施した。

ダイプログラムは7月、12月、25年3月に実施。7月のプログラム「なるほどザパレスチナ」では、パレスチナをテーマに取り上げ、ピタパン作りやクイズなどのゲームを通してパレスチナの文化や生活に触れることができた。

12月のプログラム「ちょっと本格的なクリスマス会」は、梅田会員部委員会と合同でクリスマス会を行った。子ども達は会場の飾りつけを担当し、自分達よりも大きなクリスマスツリーをダンボールで作り、手作りでもいい飾りつけをした。クリスマス会では、大人と一緒に礼拝にも参加。牧師先生のお話を静かに聴くことができた。またハンドベルコンサートではトーンチャイムの体験に参加し、いろいろな参加者とともに楽しい時を過ごした。

3月の「新発見！ゲーム大会」は、シャロン千里こども館の主催プログラムと位置付け、こども部は協力という形で企画運営を担った。こども館で、フラフープ送りや人間知恵の輪などのたくさんの協力ゲームに挑戦。メンバー、リーダーと一緒に楽しんだ。2025年度は、「ちゃれんじひろば」としてこども館で年3回実施す

る予定である。

リーダートレーニングは9月に実施。吹田市自然体験交流わくわくの郷（大阪府吹田市）において、野外活動に必要な技術の習得に向け、薪に火をつけ、つけた火で炭をおこす技術を実践した。また、おこした炭でチーズフォンデュ作りに取り組んだ。トレーニングには、リーダーOBとその家族も参加。子ども達はチーズフォンデュ作りの準備に参加したり、リーダーと一緒に水遊びを楽しんだりした。子ども達を担当したリーダーには安全に野外活動を進める実践ともなった。

2. 子ども図書室事業

未就学児が対象のちゅうりっぷくらぶは、少人数ではあるが毎回親子が楽しく参加している。全体のミーティングや勉強会も定期的に実施しており、子ども図書室は毎週水・金曜日に開館している。

大人のためのおはなし会は春に梅田の会館で、12月にはクリスマスおはなし会として千里で実施した。またシャロン千里のお隣にある北千里あいいく保育園には、子ども図書室のメンバーが定期的に読み聞かせに行っており良い関係ができています。

来年度からはちゅうりっぷくらぶをおおきなかぶの名称に変更し第3火曜日の月1回に変更する。また、シャロン千里こども館の要望で、図書室の利用をシャロン千里入居者や外部に向けても開放する予定である。

3. 子育て支援事業

千里子育て支援委員会は、今年度もおやこひろばを実施した。おやこひろばOBのお母さんがボランティアとして参加し、参加者のお母さんたちと共に料理やお菓子作りなどの交流の機会を定期的にもった。子どもたちの健やかな成長を見守るだけでなく、母親にとっての貴重な憩いの場になっている。また、10月と2月にはこども館と共催で松井洋子先生による子育て応援講座「お母さんがhappyになろう」を実施した。これまでこども館が主催していたリレーションシップがリニューアルする形となった。12月には今年もおやこひろばのリトミック講師の協力をえて、クリスマスキッズコンサートを開催した。インフルエンザ蔓延の影響もありキッズの参加は少なかったが、ケアハウス入居者が多数参加し赤ちゃんから高齢者まで幅広い年代の参加者が集まる楽しいコンサートとなった。

ママズカフェは今年度も自主運営の形式で参加メンバーが中心となり活動を続けている。また、ママズカフェメンバーの有志が集まるお菓子作りグループであるグーテドママンは月1回のペースで活動。千里のバザーだけでなく本館のクリスマスバザーでも作ったお菓子を販売し売上に協力した。

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

梅田会員部主催で年間を通じた様々な世代の交流、会員親睦などの活動を行っている。

傾聴関連活動の傾聴カフェ・ラベンダーは、今年度は月に2回、開店している。研修会は例年通り、11月に臨床心理士の井ノ崎敦子氏を講師に招き実施した。

2023年度より延期になっていた「まちあるきツアー」は4月に実施した。会員ルームでの「きまぐれバザー」は、5月に8日間、10月に9日間、7月に1日限りの衣料品特別セールを開催した。

7月には、ご寄贈頂いた無農薬の紫蘇でしそジュースを作った。また毎月第3水曜日に、留学生に提供するベジスープのスープの日に合わせてパラダイス&ランチのパンも販売している。水餃子作りは2月に中国帰国者のご協力を得て、久しぶりに実施することができた。800ヶが完成した

講座としては、1月に大阪赤十字病院看護部の川瀬佐知子看護師を講師にお迎えし「ガザ地区における命をつなぐ支援現場から～マスコミが報道しない、過酷な現状～」を行った。前半は大阪YWCAパレスチナグループの宮崎祐会員がパレスチナに関してミニレクチャーをおこない、後半は川瀬看護師よりガザ地区での支援活動と現状について現地で実際に体験された貴重なお話を聞くことができた。

12月の会員クリスマス会は、今年度もこども部と共催で開催した。第一部礼拝では、朴栄子牧師（豊中第一復興協会）から、子どもにも分かりやすいメッセージをいただいた。第二部ではDancing Bells（大阪女学院OGのハンドベルチーム）の演奏を楽しみ、実際にハンドベルの演奏もさせてもらった。会場にはこども部による大きな手作りクリスマスツリーも飾り付けられ、ハンドベルコンサートの後は美味しいお菓子と紅茶でティーパーティを行った。

梅田会員部所属グループは現在16あり、約100名のメンバーが自主活動を展開している。傾聴カフェラベンダー、リーディンググループエコー、むらさきつゆくさの会、みのり会、英会話サロン、聖書を学ぶ会、スウス

の会、いのちを語る会、絵手紙の会、手話サークル<Knot>、ソーパークーピングの会、多文化共生ワークショップ、平和・環境グループ、こども部、グループベジスープ、パレスチナグループが活動を行っている。

2. 千里

今年は千里が55周年を迎えたこともあり、コロナ禍では制限されていたお食事会を千里55周年記念親睦会として9月に箕面山荘風の杜で行った。約30名の参加者が一同を介し眺めの良い会場で食事を囲みながら楽しい親睦のひと時をもった。また今年度からは10月のガレージセールを改め、6月と10月の年2回ともにバザーを実施した。年々地域の方々からも認識され、どちらも多数の来場があり大変にぎわった。11月には和菓子作りのイベントを実施、グアテマラのメンバーと会員が楽しく交流した。今後も続けていければと考えている。

クリスマス会では、釜ヶ崎伝道所の米加田周子牧師を迎えクリスマス礼拝をおこなった。米加田牧師には毎年毛糸の帽子を編んでみよう会から手編みの帽子を届けており、釜ヶ崎のホームレスへ支援を行ってきた。今年は約300個の帽子が集まり、歯ブラシや石鹸等と共にお渡しした。また、クリスマス会ではハーブとスウェーデンヴァイオリンの演奏があり優しい音色に心温まるひと時となった。クリスマスミニセールは今年もシャロン千里玄関周辺にて販売を行った。

2月下旬には昨年好評であったピアノコンサートを、今年はチェロ&ピアノデュオコンサートとして実施した。チェリストに堀江牧生さん、ピアニストに乾将万(まさかず)さんを迎え、多くの観客が演奏を愉しんだ。

また3月には金香百合さんを講師に講演会「虎の翼」の魅力をふりかえる～織り込まれていた多様な人権メッセージ～を実施。2024年度前期NHK連続テレビ小説「虎の翼」を題材に女性の人権について考えた。

千里合唱団は、毎週木曜日に活動を行い、12月には今年もクリスマスチャペルコンサートを千里阪急ホテルにて実施した。コンサートでは千里ハンドベルクワイアも参加し、美しい音色が響くうっとり心温まる時間となった。

聖書を読む会は、今年も大阪城北教会の東島美穂牧師を講師に迎え順調に月1回の例会を開いたが、参加者の減少が続いているのが悩ましいところだ。サロン四季のグループも充実した活動を展開。文月会は順調に月1回で活動しやまぼうし19号を発刊。ただ、参加者の高齢化や様々な理由で来年度に20号の発刊をもって活動終了することを検討している。Bridgesは新規メンバー募集にも力を入れzoomを活用しつつ活動を行った。アトリエ創も定例の月2回の活動を順調に開催、バザーでたくさんの作品を販売した。趣味のグループ生け花、水彩画はおおむね予定通り開催した。しかし水彩画については来年度講師が継続することが難しいため今年度をもって終了することが決定した。

3. ボランティアの受け入れ

電話やホームページからボランティアの問い合わせがあり、問い合わせがあればその都度、個別での対応を行っている。ボランティア登録者数は7名。傾聴カフェ・ラベンダー、むらさきつゆくさの会、バザーの活動につながった。

4. ファンドレイジング

(1) クリスマスバザー実行委員会

運営委員会のもと担当者会を構成して詳細についての検討を行った。今年度はカレーやサンドイッチなどのメニューで食堂コーナーを再開。それに合わせて開催時間を12:00～15:00とした。実施形態は普段活動している委員会やグループ単位で売り場を担当する形が定着。外商には7店舗が出店、会場となったホールには、お客様が途切れない盛況ぶりであった。働き人80名を含む421名が来場。昨年度より50名以上多くの来場者に恵まれた。ご寄贈品をお送りいただいた企業や個人の皆様、ご来場くださった皆様、働き人の皆様に深く感謝をしたい。

日程：2024年12月7日(土) 12:00～15:00 来店客：421名(内働き人 80名)

5. 運営委員会

運営委員会では、世界YWCA日集会、クリスマスバザー、ピースフェスティバル、定期会員集会、定期会員集会後の講演会、LA大阪ツアーの企画・運営を行った。今年度は委員が①LAとピースフェスティバル、②クリスマスバザー、③定期会員集会の3つのチームにわかれ、それぞれ事前に協議をしたうえで運営委員会に提案を出す形で進めた。定期会員集会は、コロナ禍前の2019年3月以来となる千里での開催となった。

VI. 広報

1. 機関紙

発行回数は、定例機関紙〔A4版4頁〕年6回。4月から翌年2月までの偶数月に発行した。

定例版の1面は主に外部執筆者にその時々課題を明確にする寄稿を依頼、2～3面は、YWCAの関心事や活動テーマを掘り下げる内容となっている。1～3面で取り上げたテーマは、平和問題、パレスチナ問題、若者支援、外国人の人権問題等。4面には、専門学校の卒業生紹介や大阪YWCAに関わる報告やイベントの広報等を主に掲載した。連載では、『ぶどうの木』、『YWの窓』を継続、そして今年度から新たにスタートした『Books編集部文庫』を掲載した。

2. ホームページ・WEB関連

今年度のホームページからの問い合わせ（専門学校を除く）は、年間79件。問い合わせ対象で主だったのはバザーやイベント情報、講座等に関する内容だった。グループ活動では、カフェラベンダーや手話サークル〈Knot〉、点字こども図書室、毛糸の帽子を編んでみる会についての問い合わせが多かった。ホームページの閲覧数では手話サークル〈Knot〉と傾聴カフェラベンダーが圧倒的に多かった。地域別の閲覧数では、日本以外では米国、台湾、香港などが上位となった。

VII. 日本Y・他市Y・他団体関係

世界YWCA日集会は、京都、神戸、大阪の3市Yをオンラインでつなぎ、合同で行った。「**世界YWCAデー2024 世界につながるYWCA**」と題し、地域に根差した「ローカルな活動」、そして国際NGOとして世界のネットワークを活かした「グローバルな活動」を紹介する内容。最後は、それぞれのYから提供されたお楽しみグッズをかけたビンゴ大会で大いに盛り上がった。日程：2024年4月27日（土）13：30～15：30 参加者：50名（京都23名、神戸7名、大阪13名、他市Y4名、所属記載なし3名）

2024年度のYM/YW合同祈祷週集会は、「**Moving with Faith through the Elements ～WATER-EARTH-FIRE-WIND～自然現象に学び、信仰をもって歩む～水・地・火・風をテーマに～**」をテーマに大阪YWCAで行われた。第1部の礼拝では、ケニアでスラム街の子ども達のための学校「コイノニアエデュケーションセンター」を運営されている市橋さらさんをお迎えして、活動のお話を伺った。第2部は、クリスマスバザー食堂担当チームによる手作りのカレーを食べながらの交流会を行った。各Yからの活動報告では、梅田会員部パレスチナグループによるパレスチナ支援活動が報告された。日程：2024年11月18日（月）18：30～20：30 参加者：42名（大阪YMCA18名、関西韓国YMCA9名、大阪YWCA6名、講師1名、オンライン11名）

2024年は、4年に1度の**日本YWCA全国会員総会**が東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、代議員8名、陪席7名が参加した。恒例のY's Wonderful Women 賞には、大阪YWCAから5名が受賞、内3名が授賞式に出席した。さらに、日本YWCA理事会のもとに動き出している「ユースのウツワ・プロジェクトチーム」に職員を送り出し、全国の視野でユースのネットワークを広げ、特にRUSVの全国展開に力を入れるなど、若い女性のエンパワメントを進める流れに加わった。

8月には中国YWCAのメンバー8名が来日、大阪YWCAシャロン千里を見学後、梅田の会館にて交流会を行った。

VII. 収益事業

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会の経営する大宮保育園に対して、本財団の大宮町の土地・建物を貸与。また、同じく同福祉会の事務業務の一部を受託した。

資 料

I. 教育事業

1. 専門学校事業

(1) 全体概要

◇会議

＊学校広報ミーティング 2回実施 延出席数 10 名

◇外部団体会場への参加・出席

＊大阪府専門学校各種学校連合会

- ・留学生委員会ワーキング会議 (5 回) 中山羊奈
- ・専門学校教職員向けセミナー「留学生のイマを知る～留学生募集の現状と各分野校の取り組み事例」
(オンライン) 1/16 川崎仁子

＊全国専門学校日本語教育協会

- ・総会、総企画 (オンライン) 7/2、3/31 川崎仁子、中山羊奈
- ・教師向け勉強会「点検しよう！その教育内容 どうやって伝える？」(オンライン) 10/20 氏原庸子
- ・全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会 2/7 バトムフ・テムールン、川崎仁子

＊日本語教育振興協会

- ・初任者育成研修 (オンライン) 6/12、19、22、25、29、7/13、27、8/9、17、29、31、9/20、10/15、19 田村亜津子
- ・留学生に対する日本語教師初任研修 (オンライン) 6/29、7/27、8/31、10/19 影島充紀

＊その他

- ・株式会社アクセスネクステージ主催 日本留学フェア 日本語学校教員対象説明会 5/16
影島充紀、田村亜津子
- ・株式会社アクセスネクステージ主催 外国人学生のための進学説明会 5/28
井関幸、影島充紀、田村亜津子、学生約 40 名
- ・ECC 国際外語専門学校主催 日本語学校教職員対象学校説明会 8/8 影島充紀
- ・ミャンマーユニティ主催 留学斡旋説明会 (オンライン) 2/20 奥美和子

(2) 日本語学科／本科・日本語第二学科

◇クラス数／学生数

クラス数			学生数					合計
	本科	モーニング	1 年	1.5 年	第二学科	聴講生	モーニング	
春期	5	3	27	21	19	4	19	90
秋期	6	4	26	30	19	12	31	118

◇出身国と地域

中国、台湾、香港、韓国、日本、シンガポール、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、インド、ネパール、タイ、フィリピン、モンゴル、ウズベキスタン、ウクライナ、チェコ、フランス、ポルトガル、オランダ、ドイツ、オーストラリア、アメリカ

◇会議

日本語本科ミーティング 4回実施 出席延数 27 名

中間講師会 6/25、11/26 出席延数 64 名

春期報告会 9/18 出席 11 名

担任会 9/25、3/19 出席延数 20 名

全体講師会 10/3、3/28 出席延数 67 名

予備教育講師会 2/13 出席 8 名

卒業判定会議 3/6 出席 12 名

モーニングコース講師会 9/24、26、3/27 出席延数 19 名

モーニングコース中間講師会 12/13 出席 15 名

モーニングコースリーダー会 3/21 出席 5 名

◇進学指導・生活指導関係

内 容	回数もしくは日程	出席者数
実力テスト	6 回	414 (受験者のみ)
文法テスト	18 回	449 (受験者のみ)
定期テスト (5 科目)	4 回	1629 受験者のみ)
生活相談	延 17 日	43
ビザ更新手続き説明会	4/24	15
日本留学試験	6/16、11/10	21 (受験者のみ)
進学説明会	6/18、1/28	76
日本語能力試験	7/7、12/1	119 (受験者のみ)
継続生クラス分けテスト	9/12、2/27	88 (受験者のみ)
新入生クラス分けテスト	9/30、3/24	65 (受験者のみ)
第二学科進学説明会	1/29	14
第二学科面接	2/14	11 (学生のみ)
予備教育：総合科目 4 月～11 月 33 回 英語 4 月～11 月 17 回 数学・化学 4 月～11 月 46 回		
午後 2 漢字クラス：4 月～9 月 (3 クラス) 週 3 回、(2 クラス) 週 2 回 10 月～2 月 (3 クラス) 週 3 回、(3 クラス) 週 2 回		

◇年中行事・校外学習・課外活動プログラム・特別授業

内 容	回数もしくは日程	出席者数
入学式	4/3、10/9	202
新入生オリエンテーション	4/2、10、10/8	57
校外学習	5/2、11/1	184
健康診断	6/6、27、12/17、19	152
レントゲン健診	1/30	51
中上級クラス ハローワーク訪問	5/27	8
校内進路ガイダンス	6/24	65
校内学生演奏会	6/28、11/8	75
交通安全オリエンテーション	7/2	50
日帰り旅行 (淡路島方面)	9/13	84
校内スピーチコンテスト	9/20	95
クリスマスパーティー実行委員会	11/27、12/5、11	48
留学生基礎力講座「自転車のルール」	12/10	60
クリスマスパーティー	12/20	95
モーニングコース交流会	12/20	28
上級クラス 会話交流会 (大宮保育園訪問)	2/27	159
モーニングコース学習発表会	3/3	23
学習発表会	3/7	95
卒業式	3/12	103
日本語教師向けテスト作成勉強会	7/20	8
日本語教師向け「青少年期のメンタルヘルス研修その 2」	10/3	40

◇学生受け入れ

ZOOM 面接 2024 年度 10 月生 6 回 28 名
2025 年度 4 月生 9 回 39 名
2025 年度 10 月生 1 回 7 名

(3) 日本語学科／別科

◇イブニングコース

春期：4 クラス 30 名 秋期：4 クラス 34 名

出身国/地域：中国、台湾、香港、韓国、ネパール、フィリピン、インド、タイ、モンゴル、コロンビア、アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、スイス、トルコ

◇日本語能力試験準備コース

春期：1クラス 4名 秋期：1クラス 6名
出身国/地域：中国、ベトナム、ネパール、オーストラリア、日本

◇夏期集中コース

3クラス 25名
出身国/地域：中国、台湾、香港、マカオ、ベトナム、アメリカ、カナダ、フランス
オプションプログラム ティーパーティ (7/22 26名)
お好み焼きパーティー (7/24 13名)
上方浮世絵館 (7/26 12名)
天神橋筋商店街散策&大阪天満宮 (7/30 9名)
書道体験 (7/31 12名)
ちぎり絵のウチワ作り (8/1 12名)
造幣局見学 (8/7 9名)
浴衣体験 (8/9 11名)
修了式&修了パーティー (8/9 55名)

◇プレイスメントテスト

イブニングコース 春期プレイスメントテスト (4/12 15名)
イブニングコース 秋期プレイスメントテスト (10/8、10、11 12名)
日本語能力試験準備コース 春期レベルチェックテスト (4/5、15 3名)
日本語能力試験準備コース 秋期レベルチェックテスト (9/3、5 3名)
夏期集中コース プレイスメントテスト (7/12、16、19 19名)

◇会議

イブニングコース 春期講師会 (4/16 9名)
イブニングコース 秋期講師会 (10/11 10名)
イブニングコース 春期中間講師会 (6/14、21 6名)
イブニングコース 秋期中間講師会 (12/6 8名)
日本語能力試験準備コース 春期講師会 (4/9 5名)
日本語能力試験準備コース 秋期講師会 (9/6 5名)
夏期集中コース 担任会 (7/18 7名)
夏期集中コース 講師会 (7/19 16名)
夏期集中コース 反省会 (8/9 6名)

(4) 奨学金

奨学金名称	受給者名	受給額
文部科学省外国人留学生学習奨励費	バトムフ テムールン (モンゴル)	月額 48,000 円 (12 ヶ月)
鈴木保奨学金	アマラサナ ニンジン (モンゴル) デュオン コン ベト ニヤット (ベトナム)	月額 30,000 円 (6 ヶ月)
仙台宮城野奨学金	トゥムルバートル マルガド (モンゴル) テスモ (ミャンマー) 劉思宇 (中国) グエン ティ フェン チャン (ベトナム) ソロンロンゾンボルド オルギル (モンゴル) ハサノフ ディリショドベック (ウズベキスタン) レレ アン トウ (ベトナム) カナル アンジャン (ネパール) 孫智慧 (中国)	月額 30,000 円 (6 ヶ月)

2. 日本語教師を養成する事業

(1) 日本語教師会事業

- ◇会勢 新規入会者8名 総会員数203名 (内休会54名)
- ◇月報「マンスリー日本語教師会」の発行 (12回)

◇図書・テープの貸し出し状況 図書 46冊、視聴覚教材 0本

◇入会オリエンテーション（日本語授業プレゼンテーション含む）（1/18 15名）

◇講座・研修会・研究会・プロジェクト

①新人講師研修会 全8回 対象者6名

②日本語教員試験対策講座（ハイブリッド・オンデマンド） 講師：島千尋

第一期：全6回 19名 第二期：全6回 23名 第三期：全6回 25名 第四期：全6回 23名

第五期：全6回 21名

③「YWCAビジネス日本語」の教え方講座 講師：小林誠二、山田登 全4回 20名

④春の日本語教育セミナー（第1回はハイブリッド）

第1回「日本語教師のためのイラストセミナー 場面を表すイラスト～Can-doからイラストを考えてみよう」 講師：児島弥生 全1回 14名

第2回「ワークショップ『サンチャゴ君、なんで？』」「外国にルーツを持つ子どもへの日本語学習支援 ケーススタディー編 2」 講師：七条聡美、辻村文子 全1回 14名

⑤文法・構文研究会 全11回 メンバー6名

⑥子どものための日本語夏期集中コース 延15日 5名

◇日本語教育状況

学校・コース名	教師数			
	春期	夏期	秋期	冬期
専門学校日本語学科全日制	32	—	34	—
〃 モーニング会話	14	—	15	14
〃 イブニング	8	—	8	—
〃 能力試験準備	4		2	
〃 夏期集中		14		
〃 子どものための夏期集中		6		
〃 ビジネス日本語上級クラス	5	—	6	—
〃 〃 特別クラス			1	—
近畿中国帰国者支援・交流センター	15	—	15	—
中国帰国者支援事業日本語コース門真教室	1	—	1	—
〃 京都教室	2	—	2	—
〃 堺 健老クラブ	2	—	2	—
プライベート及び出張授業	19件／教師39名			

◇外部出張（講師として）

①生駒市「日本語学習支援ボランティア研修」 全1回 里井有里

②和泉市「日本語ボランティア スキルアップ講座」 全1回 坂本由美子

③同上「やさしい日本語講座」 全1回（二部制） 坂本由美子

④大阪市教育委員会「短期集中型基礎レベルの日本語教室」全10回 大町暁美、林昌子、日山弘子

⑤同上「南方識字・日本語教室ボランティア研修」 全1回 伊東和子

⑥大阪市立総合生涯学習センター「にほんごこんにちは（基礎レベルの日本語教室）」

全80回 延9クラス 伊東和子、大町暁美、林昌子、日山弘子、森下のり子

⑦ダイキン工業日本語グループ研修（Zoomオンライン） 全12回 芝田知子

⑧ホスピタリティ学園日本語授業 20クラス 池田敬子、大町暁美、佐々木暁美、日吉和久、森下のり子、森山孝子、和田由佳

⑨阪南市日本語クラブ「日本語指導者ステップアップ講座」 全2回 坂本由美子

⑩枚方市「日本語ボランティア養成講座」 全8回 大西雅子、坂本由美子 受付業務担当：奥美和子、川崎仁子

⑪同上「日本語ボランティア ステップアップ講座」 全3回 大西雅子、坂本由美子、森山孝子 受付業務担当：奥美和子

⑫枚方市日本語ボランティアの会「スタッフ研修会」 全2回 坂本由美子

⑬松原市「日本語学習パートナー入門講座」 全2回 辻村文子

⑭守口市「日本語学習支援ボランティア養成講座」 全8回 大西雅子、坂本由美子、永持京子、林昌子

⑮八尾市立八尾中学校夜間学級職員研修 全2回 伊東和子、佐伯玲子

⑯大和郡山市「日本語教室スタッフ スキルアップ講座」 全1回 里井有里

⑰立命館大学日本語プログラム

「フロリダ国際大学（全18回）」「香港シティ大学（全18回 3クラス）」「James Madison Universityカスタムプログラム（全

5回)」「RSJP EXPRESS (全9回 3クラス)」「上海交通大学カスタムプログラム (全20回 3クラス)」
井関幸、池田敬子、氏原庸子、大内豊久、大西雅子、大町暁美、岡裕美、加藤育子、川村清美、児島弥生、佐伯玲子、
佐藤かおり、田中久美子、南部陽子、端野昌彦、濱本千鶴子、林昌子、日吉和久、平野洋子、藤原純一、堀辺薫、松井治子、
森山孝子、山岸美智子、吉田紀子

◇外部集会・研修参加

- ①枚方市日本語ボランティアの会「スタッフ研修」打合せ 4/17、10/23 氏原庸子、藤原裕美子
- ②日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(近畿ブロック)拠点会議(主催：文科省)
5/11、9/8、12/22、3/22 氏原庸子、岡本牧子、奥美和子
- ③立命館大学日本語プログラム打合せ(オンライン) 5/23、6/27 氏原庸子、奥美和子、川崎仁子
- ④大阪市教育委員会「令和6年度 総合調整会議」 6/13、3/17 伊東和子
- ⑤大阪観光局「留学生支援コンソーシアム大阪」(オンライン) 7/11 川崎仁子
- ⑥立命館大学日本語プログラム振り返り会(オンライン) 9/17 氏原庸子、奥美和子
- ⑦ホスピタリティ学園日本語授業 講師会議 9/27、3/26 池田敬子、佐々木暁美、端野昌彦、日吉和久、森山孝子、和田由佳
- ⑧浜田麻里先生 来訪 (文科省日本語拠点事業、調査部会でのアンケート調査) 10/8 氏原庸子
- ⑨大阪市教育委員会 来訪 10/24 川崎仁子
- ⑩枚方市「日本語ボランティア養成講座・ステップアップ講座」打合せ(訪問) 11/6 奥美和子、藤原裕美子
- ⑪アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部 来訪 11/8、2/3 川崎仁子、中山羊奈
- ⑫日本語教員試験 11/17 島千尋
- ⑬「大阪市識字・日本語教育基本方針」シンポジウム(主催：大阪市教育委員会) 12/1 氏原庸子
- ⑭立命館大学(留学サポートデスク) 訪問 2/3 奥美和子、川崎仁子
- ⑮エール学園 来訪 2/5 氏原庸子
- ⑯オンラインセミナー「仕事のメール作成の基礎力をつけるための指導のポイント」
(主催：スリーエーネットワーク) 2/8 山田登
- ⑰大阪市立総合生涯学習センター 訪問 2/21 川崎仁子、藤原裕美子
- ⑱神戸定住外国人支援センター 訪問 2/21 奥美和子、川崎仁子、坂東暁子
- ⑲大阪大学訪問(8月セミナー打合せ) 3/4 氏原庸子、影島充紀
- ⑳ホスピタリティ学園日本語授業 新任講師研修 3/26 端野昌彦
- ㉑第三国定住難民日本語教育支援 オンライン打合せ 3/31 川崎仁子、中山羊奈

3. 生涯学習の各種クラス・講座

(1) ランゲージ

◇クラス状況

科 目	春 期		秋 期	
	クラス数	在籍数	クラス数	在籍数
韓国語(上級と初級)	2	6	1	4
ベトナム語	1	3	1	2

◇プライベートレッスン

内 容	回数	延人数
韓国語初級(2024年9月から)	14	28

(2) 子どもと子どもの本の講座

◇クラス状況

内 容	回数	延人数
子どもにことばを	1	9
子どもとわらべ唄	6	125
子どもに絵本を	6	68
ストーリーテリングをたのしむ	5	28
子どもに本を手渡すために	4	29
児童文学をたのしむ特別講座	4	18

◇単発講座

内 容	回数	延人数
大人のための春のおはなし会「ミリー・モリー・マンデーを語る」	1	31

◇外部集会・研修参加

- ①大阪市ボランティア・市民活動センター 大阪市ボランティア活動振興基金助成交付式/交流会 5/31 奥美和子
 ②厚労省 「第2回女性支援新法全国フォーラム」(オンライン) 12/5、6 奥美和子

(3) 生涯学習・教養講座

講座名	講師	回数	受講者(延人数)
俳句講座(紙上)	松田美子(俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰)	11	128
京都吟行	松田美子(俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰)	1	8

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習および普及活動と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

◇連続講座

講座名	開講日	延人数
多様な地域社会を支えていくための傾聴力養成講座	2/1、8、15、22、3/8、15	78

◇外部講座

	内容	日程	延人数
企業研修	新入社員ビジネスライティング研修	4/9	15
	管理職研修	7/8、9	32
	コーチング実践研修	8/27、28	26
	コーチング実践研修	10/21、22	26
	コーチング・レベルアップ研修	11/6	16
	コーチング・コミュニケーション研修	11/11	21
	管理職研修	11/18、19	29
	リーダーのためのコミュニケーションレベルアップ研修	12/16	19
	新任課長研修	1/28、29	17
	新任課長補佐研修	1/30、31	15
	管理職研修	2/5、6	29
	2年目研修	2/17、18	10
	コーチング実践	3/10、11、27、28	57
	5年目研修	3/13、14	7

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

(1) ピースフェスティバル

プログラム名	講師等	集会日	参加者
ピースフェスティバル2024 語り継ぐ〜平和を紡ぐストーリー〜	近藤紘子	1/13	35

(2) 沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える(日本YWCA地域YWCAを主体とした活動助成事業)

◇プログラム

プログラム名	講師等	集会日	参加者
ブレ企画 「10代の孤立と向き合う〜「グリ下」での活動から見えてきたもの〜」	入谷佐知(認定NPO法人D×P)	6/8	31
大阪ツアー事前学習会 「大阪における沖縄コミュニティとコリアタウン」	仲間恵子(関西大学人権問題研究室委嘱研究員)	7/13	9
沖縄ツアー事前学習会 「女性と戦争: 沖縄戦と日本軍『慰安婦』制度から戦後の米軍による性暴力まで」	玉城福子(名桜大学)	1/11	16
沖縄ツアー 【1日目】 那覇空港集合→辺野古新基地建設工事海上視察 →沖縄市コザ散策	【1日目】 講師: 金井創	2/22〜 24	22

(シアター通り、旧BCストリート、旧保健所通り、空港通り)→夕食→解散 【2日目】 那覇船員会館集合→車中でミニ礼拝→平和祈念公園(韓国人慰霊の塔、平和の礎、平和祈念資料館)→昼食→ひめゆりの塔→ひめゆり平和祈念資料館→嘉数高台→那覇船員会館で交流会→解散 【3日目】 那覇船員会館集合→ワークショップ(ふりかえり、グループディスカッション)→発表&まとめ→解散	ガイド：山城莉乃 【2日目】 メッセージ：國分美生 ガイド：大城陽、蔵當日菜子、仲宗根智利、 【3日目】 ファシリテーター：山城莉乃		
大阪ツアー 【1日目】 JR環状線新今宮駅集合→釜ヶ崎周辺街歩き→西成市民館で講演「万博と釜ヶ崎～しくみを問わない生き方への問い」→釜ヶ崎周辺街歩き(いこい食堂、三角公園、西成警察署)→解散 【2日目】 JR環状線鶴橋駅集合→コリアタウンガイドツアー(鶴橋駅、国際市場、疎開道路、御幸森神社、コリアンタウン、百済門)→生野パークで講演「アプロ実態調査からめてきたもの～在日朝鮮人女性の声を社会変革のパワーに～」→昼食→大阪コリアタウン歴史資料館→自由散策→大阪YWCA会館でミニレクチャー「滞日外国人女性の今と課題～大阪での支援を通して」→多文化夕食会 【3日目】 大阪YWCA集合→ミニ礼拝→若い女性の生きづらさや貧困に関するトークセッション→3日間の振り返り→シェアリングタイム→解散	【1日目】 講師：米加田周子 【2日目】 ガイド：コリアNGOセンター 講師：パン チョンジャ 講師：青木理恵子 ゲスト：ニルミニ、川本朋子、新井深絵 【3日目】 メッセージ：國分美生 講師：高見陽子、辻川さとみ	3/21～ 23	23

◇会議等

プログラム名	集会日	参加数(内大阪Y)
全体ミーティング	4/6、5/2、10/10、2/13	30(20)
大阪ミーティング	4/2、17、5/11、6/8、20、7/24、8/25、3/15	56
講師打合せ	6/13、18	7(5)
下見	8/24	2

3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

◇主催事業

プログラム名	集会日	参加者
パレスチナ連帯全国一斉風揚げアクション作業会	10/29	3
パレスチナ連帯全国一斉風揚げアクション	11/9	17
講演会「刺繍とデザイン-ガザ再起への希望を！」	3/1	33

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット(知的障がいをもつ女性たちのグループ活動)

◇2024年度登録者数 11名

集会名	集会日	参加人数
例会	年間 12回	延 123

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

◇点字子ども図書室

	回数/年	延人数	貸出対象人数	貸出タイトル数	貸出冊数
点字図書製作	42回	901	55	102	163
点字図書貸し出し	48回	429			

◇視覚障がい者支援

グループ名	回数	延人数	
リーディング エコー	11	22	
むらさきつゆくさの会	11	受講生	74
		ボランティア	67

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

◇配食サービス

回数／年	配食数／年	総数／年	調理働き人／年	運転働き人／年
49	3,136	4,404	532	196

◇主催事業

行事名	集会日	延人数
講演会「大切な人を喪ったグリーフとそのケア」	1/25	36

4. 女性のエンパワメント推進事業

◇プログラム

プログラム名	回数・集会日	人数(内大阪Y)
女性のこころの発達を考える連続講座 「夫や恋人との関係を考える～コントロール関係への対応と予防～」	10	68
カウンセリング	0	0
インターンシッププログラム 2024	28	185
Rise Up! School Visits 2024	28	136
関西学院大学YWCA	9	40
インターンシッププログラム公開講座「ジェンダー・セクシュアリティ はじめの一步！～性の話はみんなの話～」	6/29	19
元オーストラリア運営委員ヤスミンプル研修活動受け入れ	8	44
ステップハウス元入居者クリスマス会	12/14	10
インターンシッププログラム ワークショップ 「私の人生、私が選ぶ～アンコンシャス・バイアスからの解放～」	12/21	18
インターンシッププログラム 修了式&お茶会	12/21	18
Rise Up! School Visits! (中高生向け包括的性教育プログラム) 梅花高等学校 出張ワークショップ 「ありのままで！～私らしく、あなたらしく生きるために～」	2/18	26(4)
Rise Up! School Visits! (中高生向け包括的性教育プログラム) 大阪市立天満中学校 出張ワークショップ 「ありのままで！～私らしく、あなたらしく生きるために～」	2/28	112(5)

◇外部集会・研修・会議等

プログラム名	集会日	参加数 (内大阪Y)
大阪市DV 施策ネットワーク会議全体会	4/15	35(1)
関西学院大学 チャペルアワー	5/14、16	約600(2)
大阪市DV 施策ネットワーク会議研修	5/20、6/17	約180(3)
人権教育オンラインセミナー「包括的性教育はどうして必要？ ～すべてのひとの性＝生を大切にするために～」	6/22	約30 (1)
関西地区中高YWCAカンファレンス	7/31	90(1)
女性のライフサポート研修 2024	10/4、5、2/28、3/1	142(2)

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

◇クラス状況

*通学学習課程（春・夏期 9月末在籍者）

クラス	在籍者数
ゆっくり日本語A	8
ゆっくり日本語B	16
日本語B	11
日本語D-1	10
日本語D-2	12
日本語E	17
日本語F	10
日本語G	6
日本語H	13
上級ビジネス日本語	13
日本語能力試験N3対策	20
日本語能力試験N2対策-A	11
日本語能力試験N2対策-B	8
日本語能力試験N1対策	13
観光・医療通訳技術	12
パソコン基礎1	8
パソコン基礎2	8
合 計	195

*通学学習課程（秋・冬期 3月末在籍者）

クラス	在籍者数
ゆっくり日本語A	7
ゆっくり日本語B	14
日本語B	7
日本語D-1	11
日本語D-2	8
日本語E	13
日本語F	9
日本語G	7
日本語H	14
上級ビジネス日本語	12
日本語能力試験N3対策	17
日本語能力試験N2対策-A	10
日本語能力試験N2対策-B	7
日本語能力試験N1対策	10
観光・医療通訳技術	15
パソコン基礎1	8
パソコン基礎2	8
合 計	177

*遠隔学習課程スクーリング

コース名	延出席者数
おしゃべり話題	11
漢字学習（下）	43
自己表現作文	5
読解の基礎	5
職業訓練校入校（国語）	8
日本語能力試験N2受験準備	1
合 計	73

◇その他

*校外学習「梨収穫体験」 9/8 参加者：74名

*日本語能力試験模試N1, N2 11/17 参加者数：22名

*職業講話（主催：首都圏C／オンライン視聴）『ポケモンGO』の開発者に話を聞こう 12/15 参加者：23名

*スピーチ・作文発表会／体験学習「盆踊り 指導：高祖和代」 2/16 参加者：61名

*校外学習「菜の花収穫体験」 3/24 参加者：30名

◇地域交流活動・行事

内 容	実施回数	延参加人数
朗朗クラブ 和・洋裁Ⅰ	42	228
朗朗クラブ 和・洋裁Ⅱ	35	84
朗朗クラブ 日本語	37	417
朗朗クラブ イキイキ体操	37	258
朗朗クラブ 健康体操	42	426
社交ダンスコーナー	33	135
合 計	197	1548

◇相談事業 相談件数 475件

◇介護支援事業

＊語りかけボランティア登録人数 79名

＊語りかけボランティア活動状況

延派遣人数	派遣回数	語りかけ対象者数	実施延数
25	18	3	28

＊実施地域 兵庫県

＊語りかけボランティア養成研修会～多様な文化背景を持つ人々への介護～

3/8 講師：NPO 法人神戸定住外国人支援センター ケアマネージャー：フフデルゲル 参加者：12名

◇会議・研修会

＊全体講師会&中間講師会 全6回

＊新規非常勤講師オリエンテーション 全1回

＊中国帰国者支援・交流センター連絡会議 4/19 主催：厚生労働省 出席者：中山羊奈 坂東暁子

＊シンポジウム「中国残留邦人『三世・四世』という経験～在日コリアン、在日華僑との比較から～」 7/28 参加者：102名

＊シンポジウム「地域で暮らす外国人と私たち～どのように向き合えばよいのか～第1回」 主催：尼崎市「コスモスの会」
出席者：坂東暁子

＊中国残留邦人に係る近畿ブロック担当者連絡会議 9/3 参加者：51名

＊健康フォーラム「ゲノムのある診療室」 11/16 主催：NPO 法人未来プロセス 出席者：坂東暁子

＊シンポジウム「中国残留孤児の歴史を語り継ぐために『中国残留婦人三世として生きる』」 11/23 主催：神戸市
出席者：坂東暁子

＊シンポジウム「中国残留日本人への理解を深める集い『満州、悲惨な集団自決体験を語りつぐ』」 11/30

主催：尼崎市コスモスの会 出席者：中山羊奈、坂東暁子、清島千春、有田清秀

＊シンポジウム「中国残留日本人2世の人生が問いかけること」 12/14 主催：日中友好協会大阪府連合会 出席：坂東暁子

(2) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇地域交流事業

＊朗朗日本語クラブ 40回 延べ参加者数：180名

＊講師数 1名 ＊講師会 4回

(3) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語	5

＊講師数 1名 ＊講師会 2回

◇地域交流事業

＊京都朗朗日本語クラブ 5回 延べ参加者：31名

＊醍醐朗朗日本語クラブ 5回 延べ参加者：30名

(4) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語	5

＊非常勤講師数 1名 ＊講師会 2回

(5) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語初級Ⅰ	9
日本語初級Ⅱ	7
合 計	16

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語初級Ⅰ	8
日本語初級Ⅱ	7
合 計	15

*非常勤講師数 2名 *講師会 年4回実施

*学習発表茶話会 3/13 参加者:20名

(7) 京都府「医療通訳研修会」実施業務

	時 間	テーマ	内 容	講 師	出席者数
2/18	10:30～ 12:30	アルツハイマー病治療における新薬の基礎知識	アルツハイマー病治療の現状	ほくとクリニック病院 深尾晃三	24名
	13:30～ 15:30	通訳技術トレーニング①	総合内科/検査	インタースクール大阪校 森山美幸 呂仁梅 木村宣子	19名
2/28	10:30～ 12:30	内視鏡手術	検診で見つかる食道がん、胃がん、大腸がん大腸ポリープ等の内視鏡手術について	医誠会国際総合病院 消化器内科 森本和宏	22名
	13:30～ 15:30	通訳技術トレーニング②	外科/胸部出口症候群	インタースクール大阪校 閻勇 森山美幸 木村宣子	17名
3/3	13:30～ 15:30	介護保険制度の利用	介護サービスを利用した事例 在宅介護、施設入所等	大阪市東淀川区北部地域包括 支援センターなかよし 東田卓也	26名
3/17	10:30～ 12:30	難聴の診断と治療法	難聴の原因や種類、治療法や補聴器等について	医誠会国際総合病院 耳鼻咽喉科 阪本浩一	29名
	13:30～ 15:30	通訳技術トレーニング③	耳鼻咽喉科/脊椎カリエス	インタースクール大阪校 森山美幸 呂仁梅 木村宣子	25名
3/18	10:30～ 12:30	透析療法の基礎知識	透析療法の流れ、日常生活における注意点、合併症等について	新大阪医誠会透析クリニック 池田志帆子	23名
	13:30～ 15:30	通訳技術トレーニング④	眼科&歯科/入院手続き	インタースクール大阪校 須磨みのり 呂仁梅 木村宣子	22名
3/21	10:30～ 12:30	がんの終末期	がん治療の日々の暮らしに必要な情報～本人・家族を支援するために～	大阪国際がんセンター 池山晴人	20名

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

◇プログラム

プログラム名	場所	集会日	人数
なるほど ザ パレスチナ	大阪YWCA	7/27	14
こどものためのちょっと本格的なクリスマス会	大阪YWCA	12/21	7
新発見ゲーム大会	シャロン千里こども館	3/29	7
リーダートレーニング	吹田市自然体験交流センターわくわくの郷	9/15	14

2. 子ども図書室事業

◇主催講座

行事名	集会日	延人数
大人のためのクリスマスおはなし会	12/13	44

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
ちゅうりっぷくらぶ	21	57	145

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数
おはなしの部屋	11	165
ワークショップ	—	—
第一の会	9	115

第五の会	—	—
------	---	---

3. 子育て支援事業

◇プログラム

プログラム名	回数／年	延ボランティア数	延参加者数
おやこひろば	38	151	463
おやこひろばオープンデー	—	—	—
ママズカフェ	11	—	107
グーテドママン	4	—	24

◇主催・共催講座

講座名	集会日	場所	人数
こども館と共催 子育て応援講座 「お母さんがhappy になろう」	10/25 2/28	大阪YWCAシャロン千里	24
クリスマスキッズコンサート	12/20	大阪YWCAシャロン千里	56
フラワーバスケット作り	3/31	大阪YWCAシャロン千里	9

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

◇行事

行事名	回数	延人数
きまぐれバザー	4	125
クリスマス会	1	25
こどものためのちょっと本格的なクリスマス会	1	7
まちあるきツアー	1	5
寄贈衣料頒布会	1	2
なるほど ザ パレスチナ	1	14
講演会「ガザ地区における命をつなぐ支援現場から」	1	53
新発見ゲーム大会	1	7

◇作業会

活動名	回数	延人数
発送	10	43
パン販売	10	17
水餃子作り	1	10
きまぐれバザー仕事会	1	8
クリスマスバザー仕事会	3	17
しそジュース作り	2	13

◇傾聴ボランティア活動

活動名	回数／年	延人数	
傾聴カフェラベンダーミーティング・勉強会	1	ボランティア	8
傾聴カフェラベンダー	21	来店者	78
		ボランティア	151

◇グループ活動

グループ名	回数	延人数	グループ名	回数	延人数
みのり会	10	69	スウスの会	10	57
英会話サロン	19	58	いのちを語る会	7	39
聖書を学ぶ会	11	139	絵手紙の会	8	25
手話サークル〈Knot〉	12	188	ベジスーパ	10	81
ソープカービングの会	1	4	こども部	11	31
平和・環境グループ	9	45	多文化共生ワークショップ	0	0

パレスチナグループ	8	35
-----------	---	----

2. 千里

◇行事

行事名	集会日	延人数
千里バザー	6/1	196
千里 55 周年記念親睦会	9/18	30
和菓子作り	10/2	13
秋のバザー	10/26	179
千里クリスマス会	12/17	35
チェロ&ピアノデュオコンサート	2/22	78
講演会「虎に翼の魅力をふりかえる～織り込まれていた多様な人権メッセージ～」	3/10	43

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数	グループ名	回数/年	延人数
聖書を読む会	10	94	アトリエ「創」	20	127
合唱団	43	1171	ブリジツ	12	73
ハンドベルクワイア	39	442	文月会	11	90
サロン四季	11	51	生花グループ	44	176
使用済み切手整理	10	83			

◇趣味のグループ

グループ名	回数/年	延人数
生花を楽しむ会	12	103
水彩画	10	65

◇作業会等

活動名	回数	延人数
折姫	12	84
青葉の式	1	7
クリスマスミニセール準備	1	2
毛糸の帽子を編む会	1	2
大掃除	1	14
2 階厨房大掃除	1	6
千里バザーお仕事会	8	71
秋のバザーお仕事会	7	56
グループ連絡会	1	9

3. ボランティアの受入れ

◇ボランティア説明

説明会（延人数）			
回数	ボランティア希望	職員	登録者数
8	8	6	7

VI. 広報

1. 機関紙

(1) 発行の概要

◇回数 6 回（6 月、8 月、10 月、12 月、2 月、4 月）

◇部数 各 1,800 部

◇サイズ A4 版 4 ページ

◇配布先 会員・会友、専門学校生、クラス生、講師、賛助員、賛助会社、各市 YWCA、関係団体、講座・集会参加者、大阪市内各女性センター、他

◇広告協力会社 有限会社イースター式典社、株式会社オフィスインテリア、学校法人大阪女学院、株式会社藤木工務店、

発行月	特集内容		
	1 面	2.3 面	4 面
6 月号	人間であることの恥 (岡 真理/早稲田大学文学学術院教授)	パレスチナは誰のもの/YWCA の使命は若い女性のエンパワメント	沼野尚美講演会報告/日本語学科卒業生 今こんなことしています
8 月号	10 代の孤立と向き合う (入谷佐知/認定 NPO 法人 DXP 理事・ディレクター)	軍事化する南西諸島～三上智恵監督は訴える～/2024 年度加盟 YWCA 中央委員会報告	大阪 YWCA 専門学校奨学金授与学生の紹介/日本語学科卒業生 今こんなことしています
10 月号	日本に生きる外国籍住民と出会いと協働の重要性 (青木理恵子/NPO 法人 CHARM 事務局長)	自分の中の思い込みを振り返ってみよう!/中国 YWCA 訪問団歓迎の記	大阪 YWCA 千里 55 周年記念親睦会/日本語学科卒業生 今こんなことしています
12 月号	外交で平和を作るとはどういうことか (猿田佐世/新外交イニシアティブ代表・弁護士)	クリスマスメッセージ/元オーストラリア YWCA 運営委員ヤスミン・プールさん	サイレントアピールから 1 年/日本語学科卒業生 今こんなことしています
2 月号	「語り継ぐ～平和を紡ぐストーリー」 近藤紘子さん講演会『心の中に平和を』 (近藤紘子/平和活動家)	「核」否定の思想に立つ/2024 インターンシッププログラム	日本 YWCA 第 34 回全国総会 Y's Wonderful Women 賞受賞者紹介/日本語学科卒業生 今こんなことしています/秋期奨学生紹介
4 月号	イースター 新たな物語の始まり (村山盛忠/日本キリスト教団大阪生野教会協力牧師)	「女性と戦争」を沖縄からみつめる/大阪 YWCA 第 108 回定期会員集会報告	Rise Up School Visits 包括的性教育ワークショップ/大阪 YWCA 専門学校だより

会員・会友・賛助員・寄付・募金等

1. 会員・会友

◇2025 年 3 月末会員数 228 名 ◇2025 年 3 月末会友数 7 名

2. 賛助員

◇法人 4 社

大阪商工会議所、株式会社サンカラー SHIPPING、積水化学工業株式会社、ワツコ株式会社

◇個人 78 名

有田悦子、池田洋子、石井由佳子、石神佐知子、伊藤景子、上田賢博、宇都宮ゆかり、越後靖子、大川哲次、大平美保子、岡あづさ、片山純子、神屋敷絹恵、川上光子、河原玲青、貴志慶子、國里順子、熊田多美子、黒田朋子、河野栄子、河野陽子、小島志佐子、後藤ゆかり、木幡敦子、小林直子、西条哲、笹部真樹、沢田陽子、ジャクティアニー富士子、少徳充子、関根久子、芹野恵美、高橋浩二、田中佐和子、田中義信、田邊昌代、谷川毅、津田基子、寺中裕子、徳平真弓、豊島博子、中山ゆかり、波田則子、西名貞子、端野昌彦、花岡千代美、平井代里子、平櫛圭甫、藤井保男、藤田恭子、藤原裕美子、船越あゆみ、堀西敏子、梶居孝、松江訓子、松下起子、松下宜代、松田慶子、松田真理子、松永茅光、三澤文子、水尚子、南憲明、宮澤玲子、望月文子、森垣友二郎、八木みゆき、安原みゆき、山崎久美子、山東史子、山本昌子、吉井知加、吉田佳代子、匿名 5 名

3. 寄付

◇個人寄付者一覧（大阪YWCA会員を含む）

相澤美子、有田悦子、有山正俊、栗野陽一、家本陽一、池田洋子、上田由美子、上野康子、遠藤恵美子、大杉美耶子、大槻麗子、大畑知子、岡部順子、奥美和子、笠野卓、片山隼亮、川江亜希子、川崎明恵、金香百合、清塚典子、熊田多美子、小池りつ子、西条哲、笹部真樹、笹部昌子、鹿野幸枝、蔣建業、東海林恭子、白川啓子、末吉佳世子、関根久子、高木裕子、高橋和子、瀧本政子、辻加代、所佳子、中山光世、中山ゆかり、中山羊奈、原紀子、福田みほ、藤井清秀、藤井保男、藤岡美智子、帆足文子、幕谷安紀子、松下起子、松田慶子、三澤文子、南方里依子、宮澤玲子、村松通子、森垣友二郎、山高万寿子、横内いづみ、吉田瀧子、匿名 10 名

◇寄付団体一覧

アトリエ創、株式会社アドワン、生花を楽しむ会一同、学校法人伊丹教会学園 二葉幼稚園、絵手紙グループ有志、NCC-URM委員会、LA3 期大阪ツアー参加者有志、日本キリスト教団扇町教会、日本基督教団大阪教会、日本キリスト教団大阪城北教会、日本キリスト教団北千里教会、日本キリスト教団希望ヶ丘教会、グレートママン、クリスマス会参加者一同、グループパレット一同、コスモ建物管理株式会社、子ども図書室、財務委員会委員一同、サロン四季、株式会社サンカラー SHIPPING、水彩画を楽しむ会、聖書を読む会、大阪YWCA千里合唱団、大阪YWCA千里合唱団ハンドベルクワイア、大阪YWCA千里ガレッジセール参加者一同、大阪YWCA千里クリスマスミニセール、大阪YWCA千里バザー参加者一同、チェロ&ピアノコンサート参加者一同、点字子ども図書室、点訳サークルシックスポイント、日本キリスト教団豊中教会、豊中千里ロータリークラブ、一般財団法人中山文甫会館、配食グループ、ファンレイジング支援者一同、文月会、ブリッジズ、一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、日本キリスト教団南住吉教会、日本基督教団都島教会

4. 募金

◇募金者一覧

朝川晃子、アトリエ創、飯田雅子、植木知子、上野康子、内坂建、梅田会員部委員会有志、大杉美耶子、大原千恵子、川上悦子、川崎仁子、木下蘭子、金香百合、金志映、齋藤知子、坂上信子、阪本和子、笹部昌子、雀部真理、

鹿野幸枝、女性エンパワメント部委員一同、白川啓子、鈴鹿絹代、千里委員会一同、高橋和子、瀧本政子、田口美智、田中真砂子、谷川いづみ、谷佐代子、辻加代、津田基子、津戸眞弓、都木恵子、所佳子、中山羊奈、西村美恵子、原紀子、春本美恵子、広瀬圭子、深堀正博、藤岡美智子、帆足文子、堀河昌子、堀本千代子、本田芳子、前川契子、村井毅、森垣房子、森本ぶどう園、安田乙世、山下つねよ、山高万寿子、山本宣子、山本町子、吉田暁美、吉田くすほみ、吉田瀧子、吉本沙矢香、渡辺成子、渡辺知子

5. バザー協力企業・団体

株式会社アドワン、株式会社インターアークアソシエイツ、日本キリスト教団大阪九条教会、株式会社オフィスインテリア、株式会社神川工務店、コスモ建物管理株式会社、株式会社ジュノインターナショナル、全国公益法人協会、大寅蒲鉾株式会社、大和ハウス工業株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社野木、伯方塩業株式会社、株式会社阪急阪神百貨店、株式会社藤木工務店、株式会社プランニングキュービック、マギー洋装店、株式会社ロイヤルホテル

6. 補助金・助成金(順不同)

助成団体	金額(円)	受入れ先
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	36,000	点字子ども図書室
公益財団法人日本YWCA	149,000	女性エンパワメント部
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会	285,000	講座部
独立行政法人国立青少年教育振興機構	300,893	講座部

会議等

1. 評議員会

◇評議員 任期 2023 年 6 月 17 日～2027 年 6 月 16 日

朝川晃子、川崎知子、川江亜希子、関根聡、辻加代、平井佐津紀、広瀬圭子、深堀潤子、堀河昌子、松岡美智代、村松通子、森本昌江、横内いづみ、渡邊成子

◇評議員会の開催

回	開催日	議 案
1	2024 年 6 月 15 日	第 1 号議案 2023 年度事業報告
		第 2 号議案 2023 年度決算報告及び監査報告
		第 3 号議案 2024 年度 4～5 月事業報告
2	2025 年 3 月 4 日	第 1 号議案 2025 年度事業計画
		第 2 号議案 2025 年度予算、2025 年度資金計画及び設備投資の見込みについて
		第 3 号議案 諸報告

2. 理事会

◇理事・監事 任期 2023 年 6 月 17 日～2025 年 6 月 16 日

代表理事：谷川いづみ 理事：小澤裕子、雀部真理、鹿野幸枝、辻川さとみ、津戸眞弓

常務理事：中山羊奈 業務執行理事：中村友美、坂東暁子

監事：坂上信子、藤井恭子

◇理事会の開催

回	開催日	議 案
1	2024 年 5 月 29 日	第 1 号議案 2023 年度事業報告
		第 2 号議案 2023 年度決算報告及び監査報告
		第 3 号議案 2024 年度第 1 回評議員会の開催について
		第 4 号議案 2024 年度 4～5 月事業報告
		第 5 号議案 新規事業について

2	2024年8月1日	第1号議案 2024年度6～7月事業報告 第2号議案 2024年度4～6月収支明細報告 第3号議案 新規事業について 諸報告 1. 就業規則改定について 2. 会計事務所委託費値上げについて 3. 中国YWCAの来日について 4. 日本YWCA全国会員総会について 5. 吹田市児童センター指定管理者募集について
3	2024年10月31日	第1号議案 2024年度下期見通しによる決算見通し 第2号議案 2024年度8～10月事業報告 第3号議案 就業規則改定について 第4号議案 新規事業について 第5号議案 会計事務所変更について 諸報告 1. 専任講師の採用について 2. 公益法人制度と公益法人会計基準改正について 3. 日本YWCA全国会員総会について 4. その他
4	2025年2月6日	第1号議案 2025年度事業計画案 第2号議案 2025年度予算案 第3号議案 2024年度第2回評議員会について 第4号議案 2024年度11月～1月事業報告 諸報告 1. 専任講師の採用 2. 新規事業について 3. 第三国定住難民の定住支援事業

3. 設置委員会等

委員会名	回数	延出席数	委員会名	回数	延出席数
評議員会	2	31	大阪版編集委員会	6	36
理事会	4	40	梅田会員部委員会	9	57
財務委員会	4	34	千里委員会	11	192
人事委員会	5	41	千里ボランティア委員会	6	37
運営委員会	11	126	千里子育て支援委員会	6	54
運営委員会役員会	10	58	東日本大震災被災支援担当	3	18
女性エンパワメント部	7	57	指名委員会	2	12
グループパレット委員会	1	11			

4. 職員・専任講師

◇職員

総幹事 中山羊奈
幹事 川崎（三國谷）仁子、中村友美、坂東暁子、吉本沙矢香
幹事補 奥美和子、桑原静枝、永嶋里香
非常勤 五十嵐裕（～2月）、岩井一枝、加藤真弓、金子蘭、岸田尚美、小村龍男、茂谷冬暉（2月～）、田中直美（～10月）、常田京子、坂東摩波、平井佐津紀（10月～）、藤原裕美子、堀奈央美、松下宜代、山本いち子

◇職員会 全体職員会 20回 主任会議 1回

◇専任講師 有田清秀、井関幸、氏原庸子、影島充紀、清島千春、田村亜津子

◇会議 専任会議 4回 専任講師会 7回 教師会検討会 4回

世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA関係

内 容	日 程	参加者数	内、大阪YWCA
加盟YWCA会長会	5/15、24	約 60	2
加盟YWCA中央委員会	5/25	66	4
日本YWCA評議員会	6/18	20	2
日本YWCA全国会員総会議案説明会	10/12、14、18	不明	7
日本YWCA全国会員総会	11/23～24	132	15
日本YWCA 日韓ユースカンファレンスミーティング	4/14、17、5/7、13	27	4
日本YWCA 日韓ユースカンファレンス報告会	5/17	10	1
中国YWCA訪問団 シャロン千里見学	8/27	17	9
中国YWCA訪問団 情報交換、交流会	8/27	15	6
ヤスミンさんとの交流会	9/13	9	1
ヤスミン・プールさん インターン活動報告会	10/28	15	5
日本YWCA YWCAのアイデンティ研修	6/14	31	1
日本YWCA マーケティング研修	9/28	16	1
日本YWCA運営委員会研修「処理汚染水問題を考える」	7/24	19	1
日本YWCA職員研修「事業評価、マネジメント研修」	12/13、1/10	68	13
日本YWCA職員研修会(1～3 年目)	6/15、29、8/3～4	82	8
日本YWCA職員研修会(1～3 年目)フォローアップ	9/5、6	18	2
日本YWCA職員研修(1～3 年目)打合せ	6/11、21、8/26	12	3
全国幹事会 会館のメリットを活かした若年女性支援のモデル事業構築のための勉強会 担当者会	4/9、6/3、8/26	15	5
全国幹事会 会館のメリットを活かした若年女性支援のモデル事業構築のための勉強会	4/23、5/28、6/25、7/23	72	8
総幹事会	5/5、5/26、6/19、7/17、9/25、10/23、11/25、1/15、2/16～17、	62	9
YWCAユース担当者ミーティング	2/14	11	1

* 日本YWCA理事、財政・会館事業部会、建物管理部会、人事部会、候補者選考委員会：谷川いづみ

* 日本YWCA財政・会館事業部会、建物管理部会：鹿野幸枝

* 日本YWCA人材養成部会：辻川さとみ

* 日本YWCA運営委員、人権・ジェンダー委員会：小郷あかり

* 日本YWCA運営委員、人権・ジェンダー委員会：雀部真理

* 日本YWCAユースジェンダー小委員会、処理水プロジェクト：飯綱萌

* 日本YWCAユースのウツワプロジェクト：永嶋里香

外部関係団体

一般財団法人大阪市青少年活動協会、一般財団法人大阪府青少年活動財団、青少年育成大阪府民会議、大阪府キャンプ協会、公益財団法人大阪ユースホステル協会、公益財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、社会を明るくする運動実行委員会、特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会、公益財団法人大阪府国際交流財団、大阪地域留学生等交流推進協議会、大阪府男女共同参画推進連絡会議、大阪市企業人権推進協議会、社会福祉法人関西いのちの電話、大阪商工会議所、特定非営利活動法人いくの学園、大阪市 DV 施策ネットワーク会議、NPO 法人全国女性シェルターネット、国際女性年大阪連絡会、特定非営利活動法人関西 NGO 協議会、日本基督教団大阪教区核問題特別委員会、大阪キリスト教連合会、大阪キリスト教婦人連合会、NCC 都市農村宣教委員会、全国専門学校各種学校日語教育協会、全国専門学校各種学校連合会、大阪府専修学校各種学校連合会、一般財団法人中山文甫会館、国連ウィメン日本協会大阪、憲法 9 条の会・関西、九条の会・おおさか、学校法人大阪女学院、認定 NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター、社会福祉法人大阪 YMCA 福祉会、社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

◇会館整備

*2 階 教室学習机・椅子新規購入入替